

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	鶴見
学 校 名	茨田小学校
学校長名	左川 佳子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田小学校では、第6学年 59名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語科平均正答率は、全国に比べ5.8ポイント、大阪市に比べポイント4.0下回っている。
- ・算数科平均正答率は、全国に比べ2.0ポイント、大阪市に比べポイント2.0下回っている。
- ・理科平均正答率は、全国に比べ4.1ポイント、大阪市に比べポイント2.0下回っている。
- ・平均無回答は、国語科で全国に比べ1.0ポイント、算数科は2.7ポイント、理科は2.3ポイント上回った。
- ・児童質問紙では、「将来の夢や目標を持っていますか」の項目において「あてはまる」と答えた割合が全国に比べ7.1ポイント上回っている

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】知識・技能の「(3)我が国の言語文化に関する事項」については大阪市より2.1ポイント上回った。読書環境を充実させたり本の読み聞かせを行ったりしている成果が表れている。今後は課題として明確になった「(2)情報の扱い方に関する事項」を意識しながら、様々な情報を取捨選択して自分の考えをまとめ、発信できる力を養っていく。

【算数】領域別正答率は全国、大阪市と比べ下回ってしまったが、すべて平均数値に近づいている。本校独自の『ぐんぐんタイム』の基礎・基本の定着に向けた取り組み成果として表れている。国語科と同様、考えを相手にわかりやすく発信する力が必要である。

【理科】B区分「生命」を柱とする領域に関しては、全国平均より4.6ポイント上回った。本校は自然が多く、生き物と触れ合う機会が多い。慣れ親しんだ環境から「生命」に関する興味も高いことがうかがえる。今後は、探究心を高め、自ら興味をもって調べる力を高めていく。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目においては、肯定的回答が84.8%だった。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の最も当てはまる回答が全国、大阪市回答より高い結果となった。「人を大切にする」「思いやりをもつため」の日頃の取り組みが数値に表れてきている。教師が子どもへの傾聴の姿勢を見せること、子ども同士の思いを聴き合うことを意識した学校運営を推し進めていく。「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的数値は高い一方、「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的数値は低い。なりたい自分とそのために実現する経験を小学校の間で存分取り入れ、自己肯定感を高めていく。

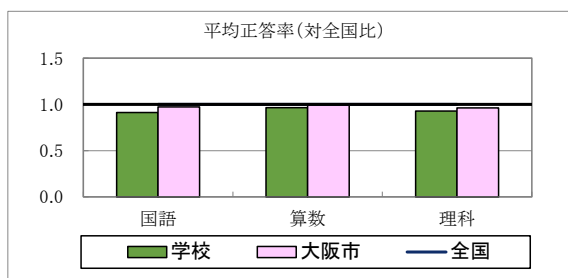
今後の取組(アクションプラン)

- ・国語科では、目的を意識して中心となる言葉や文章を見つけ、それらの意味や使い方について理解を深化させる。また、要約する練習を繰り返し行っていく。
- ・算数科では、複数のデータの分析や比較をして分かったことを友だちに伝える経験を存分に取り入れていく。そのために、図や写真、グラフなどのデータを読み取る力を養っていく。
- ・理科はA区分の学力向上をめざし、わからない授業づくりを行う。
- ・授業力向上をめざし、スクールアドバイザーから基礎基本の授業の進め方について学ぶ。
- ・「学びの意義」を実感し、「学び」が将来何に生かされているのか、日常生活のどの部分につながっているのかにも意識して学習指導をしていく。
- ・学校生活においては、引き続き友だちを思いやる心を大切にすると同時に、自分を大切に育て、よりよく生きようとする心を育みたい。

【 全体の概要 】

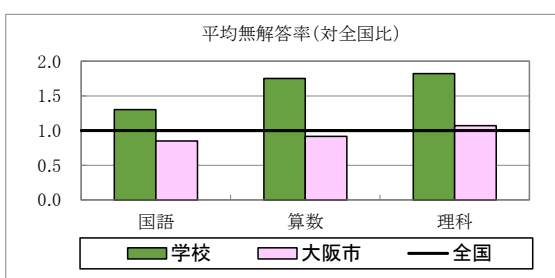
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	61	56	53
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.3	6.3	5.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



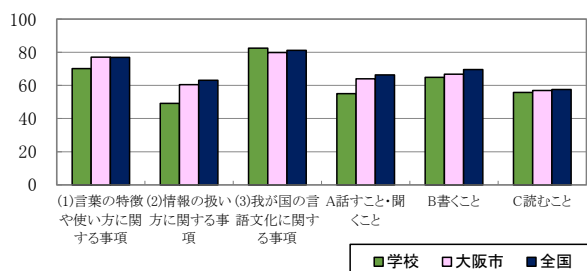
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	70.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	49.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	82.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	55.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	64.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	55.7	56.9	57.5

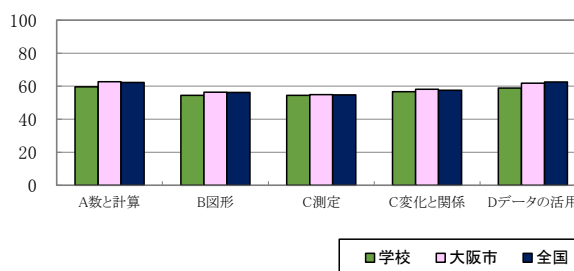
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.6	62.7	62.3
B 図形	4	54.4	56.4	56.2
C 測定	2	54.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.7	58.2	57.5
D データの活用	5	58.9	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

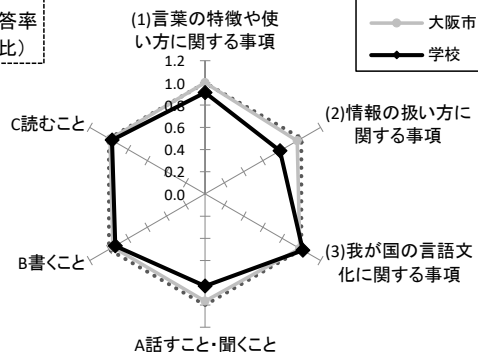


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



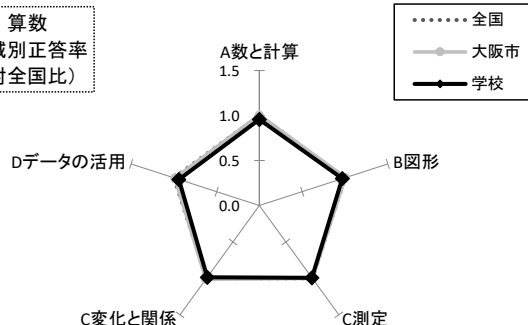
国語

内容別正答率
(対全国比)



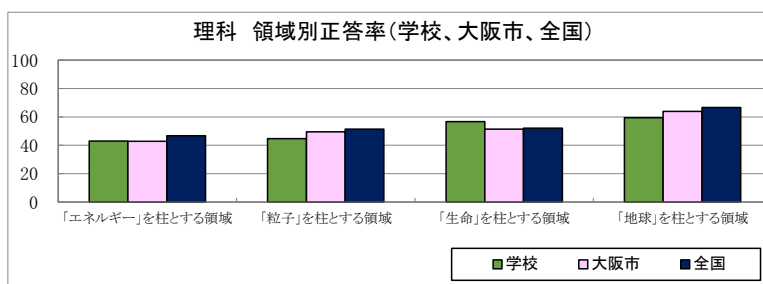
算数

領域別正答率
(対全国比)

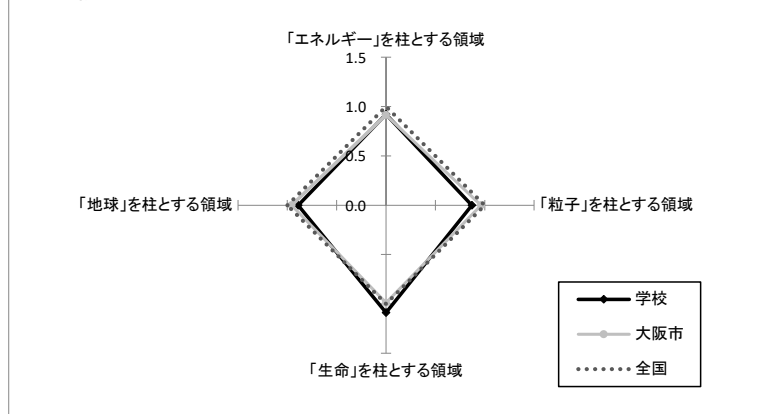


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	43.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	44.7	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	56.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	59.4	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)

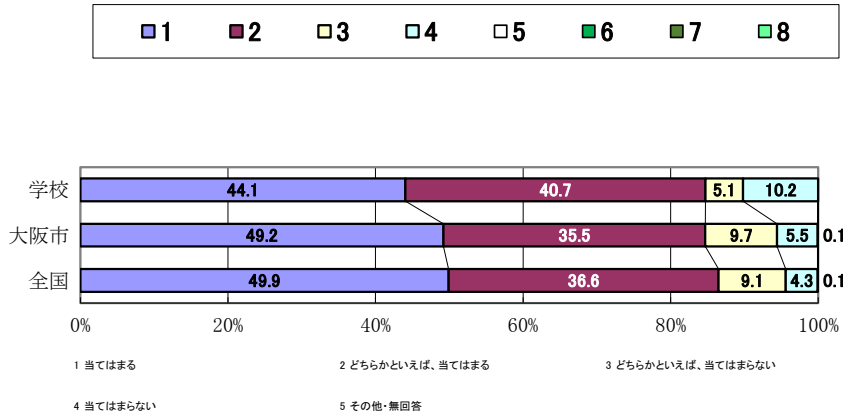


児童質問より

質問番号
質問事項

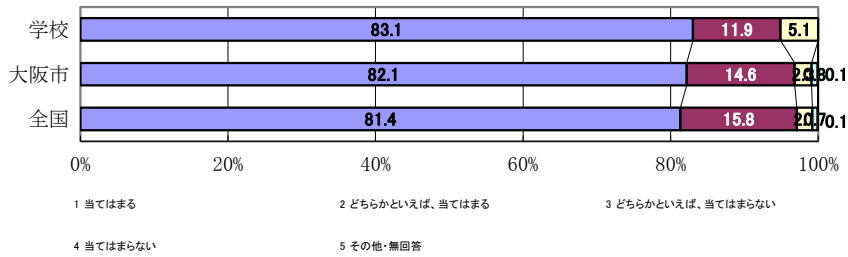
12

学校に行くのは楽しいと思えますか



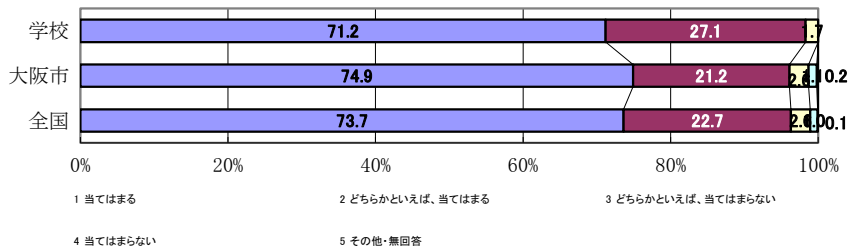
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



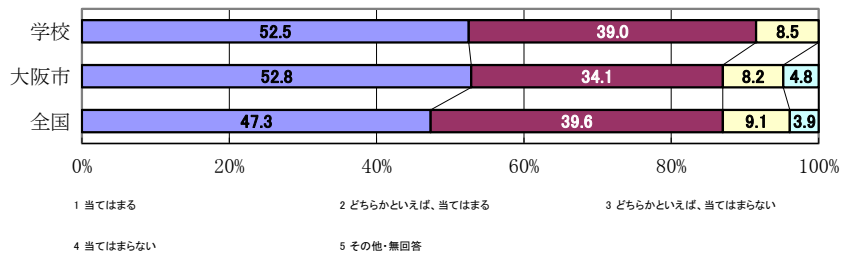
11

人の役に立つ人間になりたいと思えますか



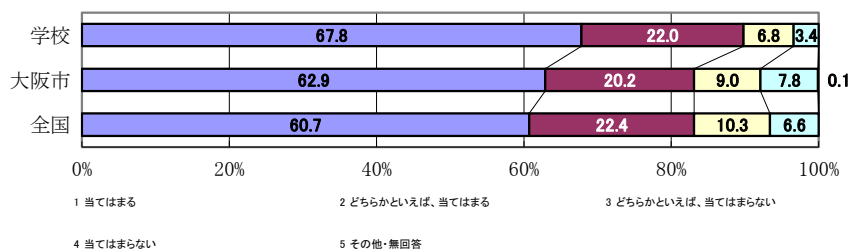
5

自分には、よいところがあると思えますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

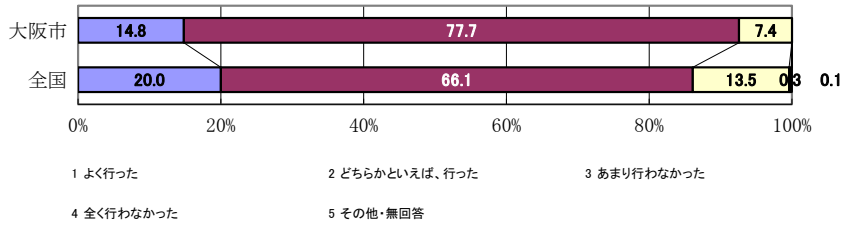
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

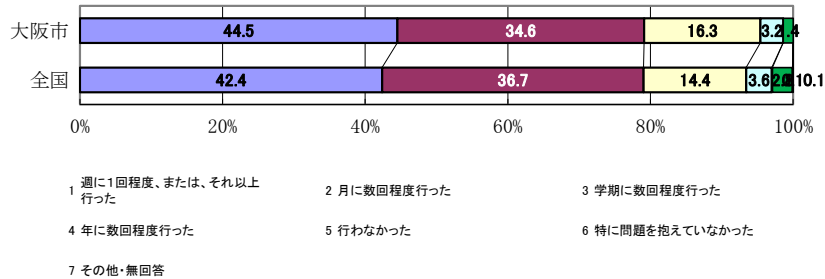
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

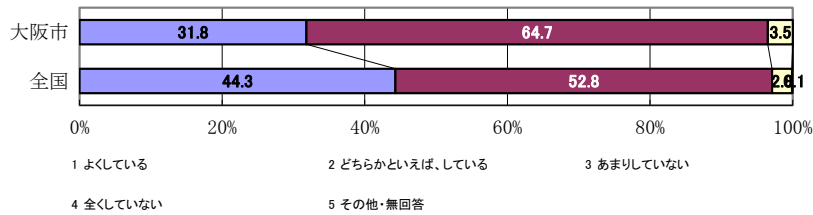
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

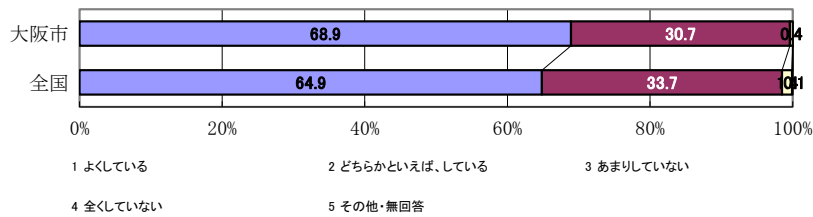
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか

学校 「そう思う」を選択

